

科目名	基礎看護学実習Ⅰ（生活と治療に伴う援助） (Clinical Practice in Fundamental Nursing I)			科目コード	208
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数（時間）	1 単位（45時間）
科目区分	専門科目	履修時期	2 年次前期	関連DP	看①②③
担当教員	岡田 ルリ子、野本 百合子、徳永 なみじ、香川 里美、谷本 淳子、森 敬子、大野 祐子				
実習目的	療養段階にある対象者を理解し、その人の意思および権利を尊重した関わりについて考えながら、日常生活援助および治療に伴う援助を実施する。そのプロセスを通して、患者－看護者関係を形成する力を高める。				
実習目標	<p>1 病棟で療養している対象者の身体的・精神的・社会的状況について理解する。</p> <p>1) 対象者の病態、受けている治療・看護など、その人の身体的状況の概要が説明できる。</p> <p>2) 対象者の療養上の不安・心配事など、その人の精神的状況の概要が説明できる。</p> <p>3) 対象者の家庭や職場・地域での役割など、その人の社会的状況の概要が説明できる。</p> <p>2 対象者の意思および権利を尊重した方法で、その人に必要な日常生活および治療に伴う援助を実践する。</p> <p>1) 対象者の意思および権利を尊重した関わりについて考えることができる。</p> <p>2) 対象者に必要な援助を安全・安楽・自立に配慮した方法で実施できる。</p> <p>3) 自分の行った援助を評価し、次の援助に活かす方法を考えることができる。</p> <p>3 日々の援助を通して、対象者と看護者の援助の人間関係を形成する力を高める。</p> <p>1) 対象者と自己の相互作用場面について振り返ることができる。</p> <p>2) 対象者に対する効果的な関わりについて考えることができる。</p> <p>3) 対象者を尊重したコミュニケーションを実践することができる。</p>				

授業計画

実習内容	
<p>1 実習場所：県立中央病院・伊予病院</p> <p>2 実習期間：5日間</p> <p>3 実習展開：病棟で療養している人を1名受け持ち、その人を理解し関係を形成しながら、その人に必要な日常生活援助および治療に伴う援助を実施・評価する。</p> <p style="text-align: center;">* 詳細は実習要綱に示す。</p>	
成績評価方法	評価項目を点数化し、実習目標の達成度(70%)、実習への取り組み姿勢(30%)で評価する。
教科書	阿曾洋子・氏家幸子・井上智子「基礎看護技術」(医学書院)
参考図書等	
授業時間外の学習について	対象者に必要な看護の事前・事後学習を主体的に行う。また、日々の実習内容を振り返って記録し、翌日の実習計画を考える。
関連科目	201 看護学概論、203 基礎看護方法論Ⅰ、204 基礎看護方法論Ⅱ、205 基礎看護方法論Ⅲ、206 フィジカルアセスメント⇒本科目⇒202 看護倫理、209 基礎看護学実習Ⅱにつなげる
備考	実 岡田、野本、徳永、香川、谷本、森、大野：看護師（医療機関） 対象者に必要な看護が実践できるよう、早期から既習の看護技術を復習しておくこと。

看護学科
(24カリ)